

外で遊ぼう！水鉄砲合戦

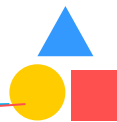
### ◆表紙の紹介◆「横手若者会議」

若者ならだれでも参加できる場をつくり、自分たちも秋田を全力で楽しんでいます。「横手は遊ぶところが無い」と言いがちですが、素晴らしい施設などがあることに気づき、遊びを創造し、遊べる仲間をつくることのできたらいいのではと考え、今回は雄物川河川公園で「外で遊ぼう！水鉄砲合戦」を実行しました。人が育つことで街が育つ…地元が楽しいと思え、「地域を自分ごとにする」きっかけとなる場づくりを目指し、日々活動しています。(文/横手若者会議)

### ◆目次◆

- P2 活動ウォッチング 子育てサポートはぐ
- P3 アクティブシニア 元気の素 俵谷裕子さん
- P4 わくわくげんき 秋田県南ブックコミュニティ
- P5 助成金・イベント情報
- P6 市民活動お役立ち情報 NPO 事務が楽になるツール part1 (会計事務編)





## THEME\_ボランティア/NPO

よりそう だきしめる

～子育て中の方への支援、情報提供・共有～

事務局 齊藤さんに聞きました

## DATA\_団体情報

子育てサポートはぐ(横手市)

代表/奥山ひとみ

連絡先/090-8256-9837(事務局:齊藤純子)

### 寄り添う活動

「子育てサポートはぐ」は、平成23年4月より子育て中のママや先輩ママなど7人のメンバーで活動している。「子育て」を経験しているからこそ分かる、子育て中の悩みや問題を自ら解決できるように寄り添い、伴走しながら、その方個人が持っている解決できる力を引き出せるような関わりを大事にしている。子育てに不安を抱えているだろうという思い込みで手を差し伸べるのは、なんの解決にもならない。悩んでいることを自分から自由に話せる空間の設定が大切だと考えている。グループ「はぐ」は「よりそう」「だきしめる」というイメージで付けた。活動していて、自分たちの想いを押し付けていないだろうかと不安に思うこともある。しかし、時間はかかるが、活動に参加した方に寄り添えて、笑顔が見られた瞬間は何よりもうれしいと、事務局の齊藤さんは言う。

### キーワードは「子育て」

活動をやっていく中で、東日本大震災で避難してきた方々が、横手市にある横手市高齢者センターに集まっていることを知り、

子育て中のママさんのことが心配になった。知らない土地での生活や単身での子育てなどで、何か役立つことはないかという気持ちを持った。齊藤さんは、

秋田県と横手市が開設している避難者交流サロンへの参加をメンバーに相談した。



いものこ会の調理の様子

メンバーは、横手で安心して「子育て」ができるよう支援することに同意し、現在も活動を続けている。具体的には子ども服や日用品の「リサイクル」、「芋煮の食べくらべ」、「いものこ汁&なみえ焼きそば」など横手と福島を食べ物でつなぐ企画、フットケアや折り紙、ネイルアートなどの「癒しサロン」などで笑顔がこぼれる交流会を開催している。



ネイルアート講座の様子

### 自分らしさを感じる無理のない子育て

子どもが生まれると生活の中心が子どもになり、自分自身の時間が無くなってしまう。子どもが成長していく中で、自分の気持ちの変化に対応することができず子育てに行き詰まることもある。その中で、ぜひ自分らしさ・自分の時間を感じリラックスしてもらいたいと考えている。自分らしさを感じる無理のない子育てができるような支援活動もしている。

### 地域ぐるみで一緒に子育て

日々の子育ての中で、個人力だけではできないことや知りえない情報もたくさんある。個人の問題や悩みの解決は大事な事だが、行政や子育てネットワークで共有しながら地域へつなげ、子育て家庭を地域全体で支えていくことも必要になってくる。

「はぐ」はこれからも親子に寄り添いながら、地域の子育てサポート団体として活動していく。

(聞き手/熊谷淳子)



俵谷裕子さん（横手市平鹿町）  
秋田まごころネットワーク 代表

地域でかがやくシニアをご紹介します

# アクティブシニア 元気の素

しばらく活動を休止していた秋田まごころネットワークの俵谷さんですが、7月イオンで開催された秋田うまいもの市でイキイキした表情の俵谷さんを発見。活動再開についてお話を伺いました。

## Q. しばらく活動を休止されていたようですが？

俵谷：四年前、夫が急逝して活動を休んでいましたが最近やっと外に向かって動き出すことができました。

## Q. あらためて秋田まごころネットワークについて教えてください。

俵谷：私の子育てこれでいいのかな？って悩んでいた時、偶然井上ウィマラさんというお坊さんに出会い相談したところ、「そういう親を持って子供は幸せですね。お母さんが心を開くことです。」と言ってくれた。自分がいい親でないことはわかっていたんですけど（笑）。ウィマラさんのワークに参加するとどんどん楽になる。それまで、こうでなきゃと思っていた思い込みが外れ今からでもなりたい自分になれる！と感じたんです。これをみんなで一緒に学ぶ場を作りたいと思い、平成12年4月、秋田まごころネットワークを立ち上げました。

## 自分のことが自分でできるって、とっても大事

### Q. 具体的にはどんな活動ですか？

俵谷：インタビューゲームや気づきのワークを取り入れて、ストレスや、無理無駄が少ない関係を学ぶ場づくりをしてきました。いま取り組んでいることは、動作法とエゴスキューの学び場作りです。

### Q. エゴスキューって何ですか？

俵谷：8年前、坐骨神経痛で歩けなくなり車の助手席に座るのもつらく、一生車イス生活を覚悟した時に出会った運動療法がエゴスキューなんです。“自分で治せる”手がかりを見つけ、1年後には完全回復しました。動作法やエゴスキューの勉強を続けてきて、その楽しさや効果が実感できたので、今は教える資格を取得準備中です。人に依存せず、自分で自分を活かして健康になっていく仲間が増えるといいなと。9月には動作法の研修会を企画しています。

## 食べるより、作る方がはるかに元気になる！？

### Q. 味噌作りもやってますよね？

俵谷：しゃべるヴェ（市民情報共有の場／サボセンにて開催）に参加したとき、“安心安全な食べ物とは

命が元気になる食べ物だ”

という方がいて、味噌づくりをみんなで

“やってみる

ヴェ”ということになりま

した。それ以来、農薬を使わず玄米麹や自然海塩で作った味噌づくりに関わっています。

### Q. 7月の秋田うまいもの市では、その味噌を売っていたのですね。

俵谷：はい。その味噌があまりにも旨いものだから自分でも作り始め、販売許可を取って出品しました。

### Q. お客さんに声をかけるのがとても上手でしたね。

俵谷：とにかく自分が旨い！と、思うので勤めてしまう。食べてもらおうと特に小学生から高校生までの男子が「何これ！うんめええ〜」と、目をくるくる。そのたびに、やったあ！と元気が湧き、つつい。

体を元気にするものを食べることは勿論いいでしょうが、それを自分で作ろうと行動すると、もっと元気になることを感じます。

そんな時に、誰でも始められる簡単かつ効果的なツールとして、私は味噌作り、動作法、エゴスキューを続けたい。そのどれもが、「この通りにして下さい！」というものではなく、自分に合うものを見つけ、思い思いに楽しんでもらえれば嬉しいです。

（聞き手／高橋 茂）



（写真左）味噌づくりの仲間、奥州さんの畑にて。農薬を使わないため除草も手作業。  
（写真右）玄米みそをベースにした商品を自売店に立って試験販売。

# わくわくげんき Vol.3

県南三郡市で読み聞かせ活動している人たちの有志で作っている「県南ブックコミュニティ」の事務局をしている岡光さんに「絵本の読み聞かせ」の奥深さを話して頂きました。



菅原寛人さん 照井直樹さん 岩田健太郎さん

今回は「つくしんぼ」という組織に所属している岡光さんに話を伺った。岡さんは横手、仙北、雄勝の三地区で同じ志を持った仲間を集め、読み聞かせの勉強会を開くために三年前から役員十名で「県南ブックコミュニティ」という組織を立ち上げる。この組織において、会員同士のネットワークを広げつつ、互いの成長を図っている。「絵本を読み聞かせすることで世界が広がり、言語が豊かになる。」と語った。

保育園児から高校生という幅広い年代に向けて活動を行っているそうだ。読み聞かせだけではなくその技術を次の世代に残していくために、湯沢市の湯沢翔北高校の専攻科に毎年十月の終わりに一年生を対象に八時間の授業も行っている。(照井直樹、菅原寛人)



読み聞かせ実演

「読み聞かせによって子供たちに与えることができるいい影響はどのようなことですか」という質問に「子供たちが持っている世界を広げ、また言語の発達を促してあげることでもできる」岡さんは答えた。考えてみると「絵本」と一口に言っても様々なジャンルがある。童話、民話、創作、ノンフィクション、ホラー、伝記など。それらを読み聞かせ、つまりは「子供たちに本を読んであげて、その文章は一体何を伝えたいのか、登場人物はどんな気持ちでそれを言ったのか等を考えさせる」ということをさせてあげているのである。(岩田健太郎)



## 取材して感じたこと

読み聞かせの「奥深さ」と「難しさ」が分かった。何十回も練習して初めて子供たちの前で読んであげることができること、それでもなお読み方の練習が必要であるということ。実際に読み聞かせを目の前でしていただいた時にはとても聞き取りやすかった。その中に緻密なテンポ・強弱等の計算がなされていると思う。まさにプロの技だと感じた。最近の絵本業界では、大人向けや高校生向けの絵本も続々出版されているとか。光さんからもお薦めの絵本の紹介をいただき、この機会にそれらの絵本を図書館などで借りたいと思う。(岩田健太郎)

「読み聞かせ」と言われて想像するのは、小さな子どもたちものと思う。私自身お話を聞く前はそう思っていた。しかし岡さんは「すばらしいみんな what a wonderful world」という本を紹介してくれた。この本は世界の平和について考えさせてくれる本で、子供だけではなく私たちの世代や大人にも考えさせられるのがあるそうだ。また、本もただスラスラ普通に読むのでは子どもたちに伝えたいことは伝わらず、本の主人公の気持ちになって読むことによって伝えたいことが伝わり、子どもたちの本に対する集中力も上がるそうだ。子どもたちに本に親しむ機会を与えるととても素晴らしいボランティアだと思った。(照井直樹)

今回、「伝える」がキーワードだと思った。相手は誰であれ、自分の思いや内容を伝えるのは容易ではない。だからこそ、感情的にならず話すなど、様々な工夫を駆使しており、伝えることがどれだけ難しいことか目に見えた取材だった。読み聞かせだけで通じる話では無く、日々生活する上で必要な話すスキルを伸ばしていく上で、注意すべき点だと思った。自分の伝え方や話し方を改めて見直す機会になったと思う。(菅原寛人)

### ◆岡さんによる自分探しもしている高校生にお薦めの絵本◆

- ①12の贈り物 シャーリーン・コスタン作 黒井 健：訳・絵 ポプラ社
- ②リンドパーク 空とぶネズミの大冒険作 トーベン・クールマン：訳 金原瑞人
- ③賢者のおくりもの 原作 オー・ヘンリー：文・絵 いもとようこ
- ④ヤクーバとライオン1 勇気
- ⑤ヤクーバとライオン2 信頼作 ティエリー・デデュー：訳 柳田邦男



## ◆助成金・イベント情報◆

### 平成 28 年度秋田県バリアフリー推進賞募集

秋田県は、「秋田県バリアフリー社会の形成に関する条例」を定め、高齢者や障害者をはじめ県民だれもが安全で快適に生活できるバリアフリー社会づくりを県民が一体となって進めていくことを目指しています。

応募対象：①施設部門 ②製品開発部門 ③活動部門 ④バリアマップ部門ごとに、極めて顕著な功績又は功労のあった個人または団体

締切：平成 28 年 9 月 30 日(金)

問合せ先：秋田県健康福祉部 福祉政策課

TEL：018-860-1311



### 第 15 回南部ハーモニープラザまつり

「みんなで奏でる調和のチカラ。」をテーマにステージ発表、展示・体験会、販売が催されます。一日限定参画カフェも。

日程：平成 28 年 9 月 10 日(土) 10:00~14:30

場所：秋田県南部男女共同参画センター

主催：南部ハーモニープラザまつり実行委員会

問合せ先：

秋田県南部男女共同参画センター

TEL：0182-33-7018

FAX：0182-33-7038



### エクセレント NPO 大賞第 4 回

「エクセレント NPO」の基本条件である「市民性」「課題解決力」「組織安定性」に基づき、3 つの賞を用意。今回から審査過程においてクラウドファンディングに挑戦できる機会があります。非営利組織でがんばっている皆さまを応援。

締切：平成 28 年 8 月 27 日(土)

賞金額：「市民賞」、「課題解決力賞」、「組織力賞」50 万円

連絡先：「エクセレント NPO」をめぐそう市民会議事務局

<http://www.excellent-npo.net/>



### 横手混声合唱団第 44 回定期演奏会

「第 46 回横手地域市民文化祭」参加公演。1 部混声合唱のための日本民謡メドレー、2 部みんなで歌おう四季の唱歌、3 部混声合唱組曲をあったかハーモニーで響きます。

日程：平成 28 年 9 月 11 日(日)

開場 13:30 開演 14:00

場所：横手市民会館ホール

入場料：500 円

(チケットのお求めは各団員/団事務局へ)

問合せ先：TEL：0182-32-8037

柴田



### 平成 28 年度重い病気を抱える子どもたちの学び支援活動助成

「重い病気を抱える子どもの学習支援」をテーマに、重い病気などによって学びへの意欲向上や学習の支援などが必要な子どもたちに対して、学習の機会の提供や学習環境づくりなどの活動に取り組む団体への助成を通して支援。

締切：平成 28 年 8 月 31 日(月) 必着

助成金額総額：1,000 万円

問合せ先：ベネッセこども基金助成事務局

TEL：03-5320-3504



### 熊本地震災害義援金のご報告とお礼

秋田県南 NPO センターでは、熊本地震災害によって、被害を受けられた方を支援するために、募金箱を設置しておりました。皆様からお預かりした心暖かい支援金は、7 月 1 日付けで「くまもとブランド推進課熊本地震義援金担当様」を通じ、集まりました義援金 7,391 円を被災地へ寄付をさせていただきました。

ご協力ありがとうございました。



### 第 10 回 未来を強くする子育てプロジェクト 子育て支援活動の表彰

より良い子育て環境づくりに取り組む個人・団体を募集。各地域の参考になる特徴的な子育て支援活動を社会に広く紹介、他地域への普及を促すことで、子育て環境を整備し、子育て不安を払拭することを目的。

締切：平成 28 年 9 月 5 日(月)

連絡先：「未来を強くする子育てプロジェクト」事務局

TEL：03-3265-2283



活動資金調達をお考えの NPO 法人・市民活動団体向けの助成金情報です。

申請書の書き方等の相談を受け付けております。

ご相談(0182-33-7002)ください。

休館日(木曜日)

THEME

# NPO 事務が楽になるツール part1 (会計事務編)

NPO 法人の運営や管理において、さまざまな事務処理や書類作成が必要となり、その処理量は決して少なくないため、その効率化は大きなテーマであり課題となっています。そのヒントとして、今回から3回シリーズで「NPO 事務が楽になるツール」を紹介していきます。(今拓也)

◆ツールに詳しいプロに聞きました。

NPO 事務のツールについて、「ソリマチ株式会社 SMB 事業部 斉藤 健司さん」にお答えいただきました。



◆会計王 NPO 法人スタイルで NPO 事務が楽になる 特長を教えてください。

●NPO 法人でよく使用される取引内容が既に設定されています。(例：正会員受取会費、賛助会員受取会費、受取寄付金など)

◆NPO 法人に作成が求められる会計書類とは？

NPO 法人会計基準(平成23年11月20日改正)では以下の会計書類の作成が求められています。

- ①活動計算書 活動状況を報告する計算書。会費、寄付金、収益、費用など。
- ②貸借対照表 財産の状況を示すもの。資産、負債、正味財産など。
- ③注記 「活動計算書」や「貸借対照表」を補足するもの。固定資産の減価償却の方法や、借入金の増減内訳などを記載。
- ④財産目録 財産状況の明細を示すもの。

◆この会計書類作成に使われているツールとは？ その特徴とは？

- エクセル**：入力は簡単。しかし会計書類の全てをフォーマットから作成する必要があります。
- 会計ソフト(一般企業用)**：会計書類を専門的・効率的に作成できますが、一般企業用の会計書類フォーマットなので、別途 NPO 法人用に編集・加工が必要となります。
- 会計ソフト(会計王 NPO 法人スタイル)**：NPO 法人会計基準に対応した会計ソフトとして市販しています。NPO 法人特有の会計書類を作成でき、そのまま印刷出力も可能となっています。  
※ソリマチ株式会社が販売している「会計王 NPO 法人スタイル」は国内市販ソフトで NPO 法人会計基準に唯一対応している。

- 非営利事業とその他の事業を行っている場合、定款どおりに**事業ごとの管理**が行えます。(例：「非営利事業」と「その他の事業」を合わせたの決算書作成や事業ごとの集計が可能)
- NPO 法人特有の会計書類①～④が作成できます。また**印刷出力も可能**です。

特定非営利活動法人 そりまちケアサポート	自 2014年 4月 1日 至 2015年 3月 31日		
【経常収益】			
【受取会費】			
正会員受取会費	625,000		
賛助会員受取会費	300,000		
受取入会金	165,000	900,000	
【受取寄付金】			
受取寄付金		500,000	
【受取助成金等】			
受取助成金		1,500,000	
【事業収益】			
自主事業収益	6,012,815		
事業収益1	3,406,706		
事業収益2	870,000	9,979,521	
経常収益 計			12,969,521
【経常費用】			
【事業費】			
(人件費)			
給与賞与	2,250,000		
人件費計	2,250,000		
(その他経費)			
売上 運賃	2,321,611		
その他経費計	2,321,611		
事業費 計			4,571,611
【経常費】			
(人件費)			

編集スタッフの VOL.4 つぶやき

協働連携推進事業統括 高橋 茂

... 去年義父から糊のきいたびかびかのツナギとJAマークの帽子をもらい、なんちゃってファーマーの仲間入りを果たした。今年は農業の基本知識を身につけたいと思い通信教育の資料を取り寄せた。届いて一か月、悩んだ。仕事の合間に勉強なんて本当にできるのか。封されたままの資料がどんどん積み上がっていき映像が頭をよぎった。もう一人の自分が聞く。じゃあ、いつやるの? 「今でしょ!」。60歳還暦にして申込書を投函した。20日くらい前に教材が届いた。まだ開いていない。いつやるの? 「明日でしょ。」(笑)

秋田県ボランティア・NPO 活動ニュース県南版

**ハンサン** 2016年8月10日発行 8月号 VOL.114

発行：秋田県企画振興部地域活力創造課  
〒010-8570 秋田市山王四丁目1-1 TEL.018-860-1245  
編集：特定非営利活動法人秋田県南 NPO センター  
(南部市民活動サポートセンター)  
〒013-0046 横手市神明町1-9



南部市民活動サポートセンター  
【相談受付】月・火・水・金 9:00~18:00 土 9:00~17:00  
【休館日】木曜日・年末年始(12/29~1/3)  
〒013-0046 横手市神明町1-9  
TEL.0182-33-7002 FAX.0182-33-7038  
E-mail: ssc7002@luck.ocn.ne.jp  
http://www.akita-kenmin.jp/hq030001